

東青山小学校

「東青山六階節」6年前に地域の方の力で誕生  
今、地域の方と一緒に、東青山六階節を伝える活動をしています。

地域の方に教えていただきながら、東青山六階節の笛・太鼓・唄・踊りを引き継いでいます。  
東青山六階節は、毎年9月に東青山小学校で行われる「東青山ふれあい祭り」で地域のみなさんと一緒に楽しめます。



太鼓は山田美恵さんに教えていただきました。唄と合わせて叩くのが難しいです。

笛は、駒澤幸雄さんに教えていただきました。音がなかなか出なくて苦労しました。

唄は、鈴木松司さんに教えていただきました。独特な言い回しが難しかったです。

東青山六階節 (5番まであります)

- |  |  |
|--|--|
| 1 おらがやー わっかいとき<br>やひこ山 かついだいの<br>いまじゃ としがいて<br>まーたいのーやーれー<br>いやさ かつがれないの<br>いやさ かつがね いさらやー | 2 おやのなー 意見と<br>なすびの花は いの<br>じゅうにひとつも<br>まーたいのーやーれー<br>いやさ むだはないの<br>いやさ むだはなーい いさらやー |
|--|--|

東青山六階節 ブック



**六階節とは・・・**

笛・太鼓・唄・踊りの4つで六階節ができています。

関屋六階節の歌詞は、東青山六階節と似ています。  
太鼓の代わりに樽を使っているのが関屋六階節です。

六階節は、初めに鳥屋野六階節・関屋六階節・平島六階節・寺地六階節があったそうです。これらの関屋・平島・寺地でやっていた六階節が合体したのが東青山六階節です。この東青山地域にも六階節を作って地域のみなで楽しみたいという要望があって東青山六階節ができました。



**六階節の名前の由来は・・・**

昔は、町の中にほり(小さな川)がたくさんあり、船を使って物を運びました。その船をこぐときの道具の名前を「ろ」と「かい」といったそうです。その2つの名前を合わせて六階節という名前になりました。

六階節は、昔、神様やすぐれた人の前で踊っていたそうです。しかし、明治時代に禁止令が出て一度途絶えました。その後、大正時代に復活し鳥屋野六階節が復活しました。しかし、東青山六階節は、まだ6年前にできたばかりです。

踊りの途中で「あーどしたーどしたー」「すっちょいさーすっちょいさー」というかけ声をするんだよ。元気づけるためのものだそうです。

歌詞の「まーたいのーやーれー」という意味は、「たびたび」という意味なんだよ。

太鼓で「ドンドン カカカッカ スドコ ドンドンドン カカカッカ」リズムが楽しいです。

ラミララミララー ♪ ラミララミララー ♪  
ミラララシ ラソソミレ ♪  
横笛の音階です。リコーダーでもできるよ。

踊るときは、  
「開いて ぼん 開いて ぼん 開いて ぼん  
左 左 右  
まわす とん (右から両手で大きな丸を1回かき 右上で止める)  
まわる とん (反対回りに両手で大きな丸を1回かき 左上で止める)  
まわす とん (右から)  
まわす とん (反対回り)」の繰り返しです。

太鼓  
ドンドン カカカッカ  
スドコ ドンドンドン  
カカカッカ  
リズムが楽しいです。

太鼓を覚えていただいた山田美恵さんから、地域の伝統をみんなで守っていくことを通して、ふるさとを大切にしていきたい気持ちにつながると嬉しいです。

東青山ふれあい祭りは、今年で11回目になりました。地域・保護者・全校の人たちと一緒に、やぐらの周りを円になり、みんなで東青山六階節を踊ります。



4年生 六階節 披露



**東青山ふれあい祭り**  
～みんなが育てよう、地域を愛する子ども～  
今年の開催は **H29・9・16(土)** です。

● 子どもの声 ●

六階節の先生に教えてもらい六階節の思いが分かりました。毎日のように練習してうまくなりました。本番では、うまくできてよかったです。これからも広めていきたいです。

最初、踊りは簡単だと思っていましたが、やってみると結構難しく何回も練習しました。東青山ふれあい祭りでは、地域の皆さんと一緒に踊って楽しかったです。

いろいろな方法で六階節を地域に広めたり、調べたりできてうれしかったです。六階節は、ほかの地域にもあると分かりました。当日の東青山ふれあい祭りでは、成功して良かったです。